

なんたん 社協だより

第 67 号

2026. 1

あべての住民のこころが輝く福祉のまちづくり



ボランティア・職員集合写真

特集 ふくし体験プログラム THEミッション ～ガリオンから逃げ切れ～

目次

- ・新年のごあいさつ／善意のご寄付 …………… P.2
- ・生活支援員研修交流会／生活支援員募集 …………… P.3
- ・南丹市ボランティア交流会／
社会福祉協議会の紹介（最終回 小規模多機能ホームだんない） …… P.4
- ・園部町ひとり暮らし高齢者のつどい／
ボランティア体験（園部町・八木町） …………… P.5
- ・THEミッション ～ガリオンから逃げ切れ～／
南丹市国際交流会館のライトアップ …………… P.6



南丹市社協マスコット
「ニャンたん」

赤い羽根共同募金／歳末たすけあい募金にご協力いただきありがとうございました。
皆さまからお寄せいただいた募金は、南丹市内の人々を支える様々な福祉活動に役立てられます。

新年のごあいさつ

～パンドラの箱に残されたもの～



南丹市社会福祉協議会
会長 吉田 進

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、お健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、当会の運営・活動に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年9月に開催されました京都府社会福祉大会で、「希望」についてギリシア神話を題材に、とても感慨深いお話に触れましたので、ここで紹介してごあいさつに代えたいと思います。

昔々、ギリシアの神ゼウスは、職人の神に命じて、この世で一番美しい女性パンドラを作らせると、エピメテウスのところへ連れて行きました。さらにゼウスは、パンドラに黄金の箱を授けていました。その箱は見る者の心を惹きつける不思議な魅力を放っていました。

パンドラはエピメテウスに言います。「この箱は神々からの贈り物。でも、決して開けてはいけないと言われていました。」

エピメテウスはパンドラの美しさに心を奪われると、パンドラを自分の妻にしました。

結婚生活は当初、幸せなものでした。しかし、日が経つにつれて、パンドラの心に「あの箱の中にはいったい何が入っているのか」という興味が芽生え、日々箱のことを考えるようになります。そして、ついにその好奇心に負けて

しまいました。

ある日、エピメテウスが外出している間に、パンドラは禁断の箱を開けてしまいます。

そのとたん、箱の中からは病気、貧困、嫉妬、憎悪、戦争、老い、死など、人間を苦しめるあらゆる災いが世界中に散らばっていったのです。

パンドラはあわててふたを閉めましたが、中から弱々しい声が聞こえてきます。

「わたしも、外へ出してください…」

パンドラが

「お前は、誰なの？」

と尋ねると、中から声が返ってきました。

「…わたしは、希望です。」

「希望」が閉ざされた箱に入ったまま出てこれないことから、このお話を絶望の物語という人もいます。しかし、「パンドラ」の「箱」が人々の心を象徴していると考えてみれば、厄災がはびこる世の中でも人間には「希望」がある、と読むことができるのではないのでしょうか。

私たち社協は、どんな厄災があっても人々の心に「希望」がある限り、幸福な暮らしを必ず築いていけると信じています。

末筆ながら、皆さまのご健康とご多幸を心から祈念いたしますとともに、本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

生活支援員研修交流会

令和7年11月19日 参加者：39名(職員含む)

福祉サービス利用援助事業では、高齢者や障がいのある方など判断能力に不安がある方が、地域で安心して暮らしていけるように支援を行っています。生活支援員が利用者のご自宅などを訪問し、日常的な金銭管理のお手伝いや日々の生活のご様子などを伺っています。

生活支援員の資質向上や交流を図るため、年1～2回研修交流会を実施しています。

今回は公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート京都支部より、司法書士の上田浩平先生をお招きしました。「成年後見制度でできること、できないこと」というテーマで、成年後見人の仕事について、詳しくご講義いただきました。



意見交流会の様子

意見交流会では、生活支援員それぞれが日々の支援で感じていることや困っていることなどを互いに共有し、交流を深めました。

普段別の地区で活動している生活支援員や担当職員が交流できる良い機会となりました。



上田浩平 司法書士

生活支援員の感想

- 成年後見制度について、知識を身に付け、福祉サービス利用援助事業からの移行なども想定しながら支援をすることが大切だと思いました。
- 今回の研修を受け、成年後見制度について理解を深めることができ、勉強になりました。
- 他の支援員さんとの交流で、いろいろな体験を知ることができる出会いは大切だと思いました。

募集中

やってみよう! 生活支援員(福祉サービス利用援助事業 非常勤職員)

地域福祉活動に理解と熱意のある方、空いている時間を有効活用しませんか?

活動内容

利用者のご自宅や施設などを訪問し、あらかじめ定められた日常的な金銭管理のお手伝いなどを行っています。専門員及び担当職員のサポートしますので、安心して活動していただけます。

賃金

時間給1,130円
(令和7年11月現在)

出勤頻度

月1～4回/
1回につき1～2時間程度

活動場所

南丹市内(主に日吉・美山)

必要資格

車の運転に支障がない方



詳しくは TEL 0771-72-3020 生活相談課まで

善意のご寄付ありがとうございました

令和7年9月1日～令和7年11月30日受付分

カラオケ同好会園歌一同	様	10,000円	福祉のために	郵便局長夫人会 やまゆりの会 南丹・京丹波部会	様	雑巾・軍手多数	福祉のために
湯浅 重義	様	100,000円	亡義母の供養に	谷内 博	様	もち米多数	福祉のために
匿名寄付	2件	21,673円	福祉のために	匿名寄贈	1件	家電等多数	福祉のために
				匿名寄贈	1件	衣類多数	福祉のために

生涯青春 ～心も身体も健康に～
音楽と踊りを楽しむ会

市内で活動するボランティア団体や個人ボランティアなどが参加し、各町からのボランティア活動紹介を通じて、つながりを深めました。



ふれあい楽団Luce (ルーチェ)



デイサービス支援ボランティア さくらんぼ



柳姿会 日本舞踊



日本よし笛の会 京都美山教室



参加者

それぞれ頑張っておられる姿がとてもよかったです。改めて、ボランティアの良さを感じました。



参加者

同年代の方々が、真剣に又、楽しく取り組みでられ感動しました。若々しく活動していて、たくさん刺激をもらい、もっと自分も頑張ろうと思いました。



ボランティアガイドブック「ぼらん」に掲載されている、南丹市内で活躍するボランティア79団体の活動ポスターを展示しました。この展示がきっかけとなり、新たなボランティア活動につながっています！



南丹市ボランティアガイドブック「ぼらん」第3版



日吉のアイドルたいぴーも歌を披露

主催：園部町民生児童委員協議会・南丹市社協園部事務所

内容：音楽演奏（ふれあい楽団Luce様）、三味線演奏（津軽三味線ひびき様）、皿回し・マジック（中西博美様）、ハーモニカ演奏（民児協女性部会）、大抽選会

ひとり暮らしの方、日中おひとりでお過ごしの方をご招待して開催しました。「毎年楽しみにしているんや」「今年も来たで」と笑顔で来場されました。

会の中では、懐かしい歌を歌ったり、皿回しや体操をしたり、また美味しいお弁当を一緒に食べました。民生児童委員の皆さまからは、この日のために描かれた絵手紙のプレゼントがありました。今年も、とても温かい「つどい」となりました。



皿回し



絵手紙



音楽演奏



ハーモニカ演奏



三味線演奏

園部町クリスマスボランティア体験

主催：園部町ボランティア連絡協議会
日時：令和7年12月14日
場所：南丹市園部文化会館「アスエルそのべ」

来場者 89名

9団体のボランティア体験ブースや4団体による活動発表、また、バザーもあり会場が賑わいました。

参加者の感想

- 皿回しが楽しかったので次もやりたいです。
- 私も目が悪いので点字がとても勉強になりました。
- 着物の着付けが楽しかった。



点字体験



クリスマスツリー飾り作り



朗読と人形のおはなし会



ゲームコーナー

参加者の感想

- みたらし団子簡単に作れて楽しかったです。
- 脳トレゲームまたやってみたくです。
- どの体験も楽しく興味を持ちました。



みたらし団子づくり体験



紙芝居体験



脳トレゲーム



腹話術体験

ふだんのくらしを しあわせに 社会福祉協議会の紹介

最終回 小規模多機能ホームだんない



▲施設の外觀

「小規模多機能ホームだんない」では、通い・訪問・泊まりを柔軟に組み合わせ、利用者の生活スタイルに合わせた切れ目のない支援を提供しています。

- 日中の「通い」による入浴・食事・機能訓練などの生活支援
- 自宅への「訪問」での安否確認や生活援助・身体介護
- 必要時に利用できる「泊まり」による安心のサポート

詳しくは…小規模多機能ホームだんないまで 0771-68-3939

THE ミッション ガリオンから逃げ切れ

君はミライ星人ガリオンから逃げ切れるか？



令和7年11月1日 旧摩気小学校

参加：12名の小学生

14名のボランティア

第1回 南丹市社協特別企画

おにごっこ × ふくし体験プログラム

#福祉人材育成 #生涯学習
#福祉体験

福祉への関心が高まり、地域福祉活動へ関わるきっかけとなることを願い、企画しました。さまざまな“福祉ミッション”に挑戦し、クリアする度に「エネルギーカード」がもらえ、集めたカードで未来星人ガリオンを未来へ送り返すことができる設定です。ガリオンに追いかけるながらも、子どもたちは仲間と協力し、次々と福祉ミッションをクリアしていました。



当日の動画
はコチラ

Mission ミッション



点字で暗号を読み解く



水消火器体験



高齢者の買い物サポート



車いす体験



参加者

- 助けてもらう人の気持ちが分かった
- 友だちと協力するのが楽しかった
- 色々なミッションの中で、新しい友達
ができた

Special Thanks \ ボランティア、大活躍 /

園部中学校3年生・亀岡市立大成中学校3年生
点字サークル楽点・コンビニ劇団・音訳ボランティアかわせみ
NPO法人摩気高山の郷振興会・井尻 和仁さま 順不同

社協では、これからも楽しみながら“思いやりの心”を育む体験の機会を提供していきます。

南丹市国際交流会館が 認知症啓発カラーにライトアップ！

1994年、「国際アルツハイマー病協会（ADI）」は毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓発活動を行っています。

南丹市では9月を「認知症月間」とし、「南丹市国際交流会館」を認知症啓発カラーであるオレンジ色にライトアップしました。

自分が認知症になったらどんなふうに暮らしたいか、また認知症の方が暮らしやすいまちはどのようなものか。

今回のライトアップを通じて、少しでも多くの方が「認知症」について考えるきっかけになればと思います。



南丹市社協
ホームページ



南丹市社協
メール



南丹市社協
TEL